

(様式 1)

自己評価票

【自己評価の意義・目的】

自己評価は、事業者自らが主体的にサービスの評価を行い、サービスの提供状況を見直すことにより、サービスの質の向上を図るシステムの1つです。サービスの質の向上は、この自己評価をはじめ、事業者の取り組みを第三者の目で確認して評価を行う外部評価や第三者評価、苦情解決制度や権利擁護制度、さらには、アンケート調査等による利用者からの声の反映、オンブズマン機能などが相まって実施されることにより達成されるものです。この自己評価の結果を公表することにより、利用者にとっては、客観的な指標、判断材料として事業者の選択に役立つものとなります。

記入年月日	平成 20 年 1 月 28 日									
法人名	有限会社 家族の家									
代表者(理事長)名	橋本 健									
介護保険事業所番号	2	7	7	5	8	0	2	1	3	1
サービスの種類	・ 認知症対応型共同生活介護 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所 ・ 介護予防認知症対応型共同生活介護 ・ 介護予防小規模多機能型居宅介護事業所									
事業所名称	グルーホーム 花の里 Aユニット									
事業所所在地	大阪府大阪市平野区长吉出戸4丁目1-5									
記入担当者職・氏名	(職)	管理者	(氏名)松田 富出美							
連絡先電話番号	066-797-5335									

自己評価項目構成

・理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

・安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

・サービスの成果に関する項目

【自己評価の実施方法】

運営者(法人代表者等)の責任の下に、管理者が従業者と協議しながら実施してください。
「評価項目」ごとに評価をしてください。

その判断した理由や根拠のポイントを記入してください。

少なくとも、年に1回は自己評価を実施してください。

優れている点や改善すべき点などの特記事項についても、別途、記録しておいてください。

改善すべき事項については、改善のための計画(任意様式)を作成してください。

利用者やその家族等が今後、サービスを受けようとする時の情報として、この評価結果を利用できるように、利用申込者又はその家族に交付する重要事項説明書に添付の上、説明するとともに、事業所内の見やすい場所に掲示するなどし、評価結果を積極的に公表してください。

評価結果及び記録等は、評価を完了した日から3年間は保存してください。

(様式1)

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	実施している。フロアー内に常に掲示し、毎日目にしてている。	フロアー内に常に掲示し、毎日目にしてている。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	実施しに向けて取り組んでいる。	毎日の朝礼で読み上げ、個人の意識付けをしていきたい。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	実施していない。	地域の人々や外部の人たち、家族などにも銘記できるように働きかけていきたい。
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	地域との交流は難しい。	地域の一員として、自治会、老人会、行事などの地域活動に参加して交流を深めていきたい。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域との交流は難しい。	夏祭り、年末の夜間の警らへの参加をしたい。ホーム周辺の清掃。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	特定非営利活動法人 永寿「認知症ちょっと支援ネットワーク平野（長吉地区）」認知症の勉強会に参加している。		利用者の家族及び管理者、職員の参加。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	昨年度の外部評価を活かしてミーティング等を実施するも継続困難である。		職員の確保により実施していく。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	実施していない。		評価をもとに家族との意見等を参考として、サービスの向上に活かしていきたい。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	実施していない。		申請手続き等も社労士にまかせているが行き来する機会を増やしていきたい。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修への参加をしている。		平成20年1月19日に参加。 NPO法人 任意後見ネットワーク勉強会に参加。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修への参加をしている。		職員間で虐待防止の意識付けをもち相談の場を設けたり、意欲的に研修の参加等にも努め、虐待防止に努めていきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>口頭、書面にて説明を個々に行っているが、家族が高齢のため理解が得がたい。</p>	<p>随時相談を応じている。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>できうる限り設けている。</p>	<p>利用者からの意見を反映させるため、外部との交流を行っていききたい。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>来所できない家族には適宜電話連絡等を行っている。</p>	<p>随時行っている。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族より意見が出ていない。</p>	<p>密に家族との連絡をとることにより取組みたい。(施設に任せっきりにされている家族が多い。家族との疎遠者、遠隔地、高齢であるため。)</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>実施している。</p>	<p>随時職員個人面談もしていききたい。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>実施している。</p>	<p>実施している。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	実施していない。	職員の確保に努める。
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	研修内容の担当者を決め研修への参加を実施している。	地域ネットワークの構成メンバーへの参加。
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	実施している。平野区のグループホーム連絡会を毎月第3木曜日に実施している。	職員の業務路への質問や疑問点を解消するため研修や勉強会等の参加。
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	実施している。外出援助や食材の買物等の参加。	内勤以外ではなく食材買出し等極力参加している。外部への研修の参加。地域での人々とのレクリエーションの参加。(太極拳、ダンベル体操)利用者と共に日帰りツアーの参加。
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	実施している。職員個々の意見や要望をとりいれている。	環境整備などの要望も取り入れる。(道路面への施設看板や車両の出入り口へのカーブミラーの設置ウッドデッキの設置への考案、考慮、コピー機の再購入、冷凍庫の購入。車の購入。)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	実施している。時間の可能な限り訴えを傾聴する。	時間の可能な限り、本人や関係者等の連絡を取り合っている。
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	実施している。時間の可能な限り訴えを傾聴する。	時間の可能な限り、家族や関係者等の連絡を取り合っている。
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	実施している。家族と共に本人の意思を確かめながら実施している。	リハビリマッサージ施術師と共に精神的な安定、QOLの向上を図る。
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	実施している。その場の雰囲気に合わせて行う。本人の意思の尊重している。	家族への聞き取りを行って行きたい。その場の雰囲気に合わせて行う。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	実施している。日常生活の中で、生活の知恵等を出してもらったりしている。	日常生活の中で、生活の知恵等を出してもらったりしている。もっと知恵を出せる場を設けて行きたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	実施している。面会時等で本人の生活を報告し、密な関係をとっている。		面会時等で本人の生活を報告し、密な関係をとっている。 もっと文章や電話等も利用し関係を深めたい。
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	実施している。面会時に話し合いを行っている。		面会時に話し合いを行っている。
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	実施していない。連絡先の不明が多い。		連絡先の不明が多い。
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	実施している。関係を把握し外出時等も一緒に行っている。他の方との交流も行っている。		関係を把握し外出時等も一緒に行っている。 他の方との交流も行っている。
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	実施していない。		特に考慮していない。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>実施している。本人との話し合い場をもち意向の把握に努めている。</p>	<p>本人との話し合い場をもち意向の把握に努めている。</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>実施している。家族及び関係者からの情報提供が少ない為問題がある。</p>	<p>家族及び関係者からの情報提供が少ない為問題がある。</p>
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>実施している。利用者との関わりを密に会話等し趣味や特技を活かせる様に関わり、一緒に参加している。</p>	<p>利用者との関わりを密に会話等し趣味や特技を活かせる様に関わり、一緒に参加している。</p>
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>実施している。家族からの情報は少ないが、本人の意見を反映している。</p>	<p>家族からの情報は少ないが、本人の意見を反映している。</p>
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>実施している。その都度行っている。</p>	<p>その都度行っている。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	実施している。		その都度行っている。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	実施している。希望に添えるように支援している。外出援助の希望等も実施している。		希望に添えるように支援している。外出援助の希望等も実施している。人材確保により希望日に現実できるように支援をしていきたい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	実施していない。		機関との訪問等をはかり密にしていきたい。
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	実施していない。他のサービスを受けるうえで実費になる為金銭的に余裕がない為。当ホーム利用者は生活保護者が多いため。		金銭的余裕がないため。
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	実施していない。		考案中

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	実施している。密な報告をしている。		健康管理等の報告は随時行っている。
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	実施していない。金銭的余裕がない為。(家族同行が難しい。人員、交通費、受診に対する金銭の捻出が難しい。)		<p>考案中。</p> <p>生活保護者が多い為、金銭的余裕がない。(家族同行が難しい。人員、交通費、受診に対する金銭の捻出が難しい。)</p>
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	実施している。生活内での日常健康管理をおこなっている。		生活内での日常健康管理をおこなっている。
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	実施している。提携病院との連携を図っている。		提携病院との連携を図っている。
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	実施している。家族、ドクター、職員との話し合いの場を設けている。		家族、ドクター、職員との話し合いの場を設けている。
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	実施している。今後の変化に備えての検討や準備は考案中。		今後の変化に備えての検討や準備は考案中。家族の意見を取り込んで支援をしていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>実施している。他の事業所からの情報も少なく、家族（遠縁者）である為本人に係わる情報もない為に情報交換が難しい。</p>		<p>他の事業所からの情報も少なく、家族（遠縁者）である為本人に係わる情報もない為に情報交換が難しい。</p>
<p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>				
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>実施している。個々への対応はその都度適宜に行っている。</p>		<p>個々への対応はその都度適宜に行っている。</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>実施している。ただし認知度が重度化により理解を欠けるときがある。</p>		<p>実施しているがただし認知度が重度化により理解を欠けるときがある。</p>
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>実施している。一人ひとりのペースに合わせ、意思決定を尊重している。</p>		<p>一人ひとりのペースに合わせ、意思決定を尊重している。</p>
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>				
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>実施している。美容院の利用。</p>		<p>パーマ、カット、毛染め等本人の希望日に合わせる。化粧品の購入</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	実施している。食材の準備、調理準備（皮むき、おろし、食材切り、配膳準備、配食、片付け、食器拭き）		食材の準備、調理準備、（皮むき、おろし、食材切り、配膳準備、配食、片付け、食器拭き）
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	実施している。本人の嗜好に合わせている。（家族了解の許に実施している。）		アルコールは行事等で飲まれるが、嗜好品等も買物に同行しその都度購入。
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	実施している。排泄パターンの把握に努めている。		さりげない声掛けを行いつつ、本人の意思の尊重を優先している。
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	実施している。要望があれば夜間浴も行っている。		夫婦であっても個浴や夫婦浴を取り入れている。就寝前の入浴希望。
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	実施している。就寝、起床時間を決めていない。		就寝、起床時間をきめていない。（現在、昨年8月の入居者の徘徊、不眠により他の利用者の苦情ある）
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	実施している。地域レクリエーションへの参加、体力づくり、彫刻、裁縫、ミシンがけ		地域レクリエーションへの参加、体力づくり、彫刻、裁縫、ミシンがけをしている。園芸や菜園等の取り組みの考案。


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	実施している。買物時本人に所持していただく。		本人の能力に応じて実施している。
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	実施している。本人の希望に応じている（ただし職員配置や車両の手配、季節、天候の考慮により支援している）		本人の希望に応じている。（ただし職員配置や車両の手配、季節、天候の考慮により支援している）
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	実施している。特に制限はしていない。		特に制限はしていない。
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	実施している。特に制限はしていない。（後見人より意見による場合がある）		特に制限はしていない。（後見人より意見による場合がある）
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	実施している。特に制限はしていない。日中玄関は施錠していない。		特に制限はしていない。日中玄関は施錠していない。
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指 定基準における禁止の対象となる具体的な 行為」を正しく理解しており、身体拘束を しないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアを実施している。		身体拘束をしないケアを実施している

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	実施している。内ドアの自動ドアであり、出入りはリモコン操作であり申請時に許可を得ている。外出時はドアの開閉は行う。(特例有り)		内ドアの自動ドアであり、出入りはリモコン操作であり申請時に許可を得ている。外出時はドアの開閉は行う。(特例有り、外出時1人で帰所できない為、警察に通報経験有り、在宅時も同様の事例あり、家族より申し出あり)
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	実施している。入室後の様子確認。		入室後の様子確認。
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	実施している。調理器具(刃物、洗剤(台所、洗濯剤、漂白剤、柔軟材、掃除用、希釈剤)保管確認)はさみ、カッター、針、髭剃り等の保管管理確認		調理器具(刃物、洗剤(台所、洗濯剤、漂白剤、柔軟材、掃除用、希釈剤)保管確認)はさみ、カッター、針、髭剃り等の保管管理確認
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	実施している。状況に応じて取り組んでいる。		状況に応じて取り組んでいる。
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	実施していない。		救急救命等の講習の参加。消防訓練時での応急手当の対応の指導。
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	実施していない。		地域の人々の協力を得られるよう働きかけて行きたい。(地域支援ネットワークの会合の参加)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	実施している。面会時にて生活状況を報告。		面会時にて生活状況を報告。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	実施している。申し送りノートの活用にて職員、ドクター、看護師への報告。		申し送りノートの活用にて職員、ドクター、看護師への報告。
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	努めている。ただし処方目的や副作用、用法や要領については把握できていないこともある。服薬支援、服薬後の症状の状態変化等の確認に努め、ドクター、看護師に報告を行う。		努めている。ただし処方目的や副作用、用法や要領については把握できていないこともある。服薬支援、服薬後の症状の状態変化等の確認に努め、ドクター、看護師に報告を行う。
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かさず働きかけ等に取り組んでいる	実施している。飲食物は白米から玄米食に変更。根菜類、繊維食品、乳製品の摂取。体操。		飲食物は白米から玄米食に変更。根菜類、繊維食品、乳製品の摂取。体操。
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	実施している。毎食後は実施していないが、朝、夕の実施。(本人の拒否もある)夜間の義歯洗浄での洗浄剤の使用。		毎食後は実施していないが、朝、夕の実施。(本人の拒否もある)夜間の義歯洗浄での洗浄剤の使用。
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	実施している。少食者に対しては間食及び、食事回数を増やし、嗜好品での摂取している。水分補給も多種類(柚子茶、ココア、カフェオーレ、紫蘇ジュース、紅茶、黒豆茶、麦茶、煎茶、ほうじ茶、玄米茶等、)の飲水を試みている。		少食者に対しては間食及び、食事回数を増やし、嗜好品での摂取している。水分補給も多種類(柚子茶、ココア、カフェオーレ、紫蘇ジュース、紅茶、黒豆茶、麦茶、煎茶、ほうじ茶、玄米茶等、)の飲水を試みている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	実施している。感染症マニュアルあり。対応としてはインフルエンザに対しては、嗽、予防接種、ノロウイルスに対しての塩素系消毒での対応。紙ペーパータオルでの塩素消毒での清掃。保健所指導。布団干し(日光消毒、布団乾燥機)対応。デイスボ使用		感染症マニュアルあり。対応としてはインフルエンザに対しては、嗽、予防接種、ノロウイルスに対しての塩素系消毒での対応。紙ペーパータオルでの塩素消毒での清掃。保健所指導。布団干し(日光消毒、布団乾燥機)対応。デイスボ使用。職員全員の感染症予防の受講等参加。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	実施している。調理用器具の消毒。冷蔵の清掃に努め、生鮮食品の保管管理。		調理用器具の消毒。冷蔵の清掃に努め、生鮮食品の保管管理。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	実施している。整理整頓に心がけている。訪問者への妨げにならないように玄関周りやフェンス下への鉢植え等の装飾あり。		整理整頓に心がけている。訪問者への妨げにならないように玄関周りやフェンス下への鉢植え等の装飾あり。
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	実施している。Aユニットでは南側ベランダの朝日の調節をカーテンにて調節し、フロアーから見える季節の花、植木で季節感を取り入れている。室内にも生花を飾っている。		Aユニットでは南側ベランダの朝日の調節をカーテンにて調節し、フロアーから見える季節の花、植木で季節感を取り入れている。室内にも生花を飾っている。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	実施している。リビングにはソファ等、トイレ前にも長椅子を設置している。ソファでのティタイムでは、ローテーブルの使用をしている。		リビングにはソファ等、トイレ前にも長椅子を設置している。ソファでのティタイムでは、ローテーブルの使用をしている。座卓使用も試みているが冬場はコタツ使用にも出きる食卓テーブルも試みたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	実施している。転居時本人の希望の家具、茶箆筥、絨毯、小物等を設置している。		転居時本人の希望の家具、茶箆筥、絨毯、小物等を設置している。華道・茶道免許の保持者の希望を取り入れて行きたい。(以前居室に飾っていた花瓶を持ち歩き廊下での転倒にて骨折にて入院経歴があり、現在は中止している)
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	実施している。換気、温度調節はこまめに行っている。		換気、温度調節はこまめに行っている。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全確保に生活を送れるように心がけている。		安全確保に生活を送れるように心がけている。
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	実施している。居室の入り口に本人での居室確認ができるように暖簾や大きく表示している表札をかけたっている。		居室の入り口に居室確認ができるように暖簾を設置している。
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	実施している。外気浴やティータイムや園芸に活用している。		外気浴やティータイムや園芸に活用している。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)